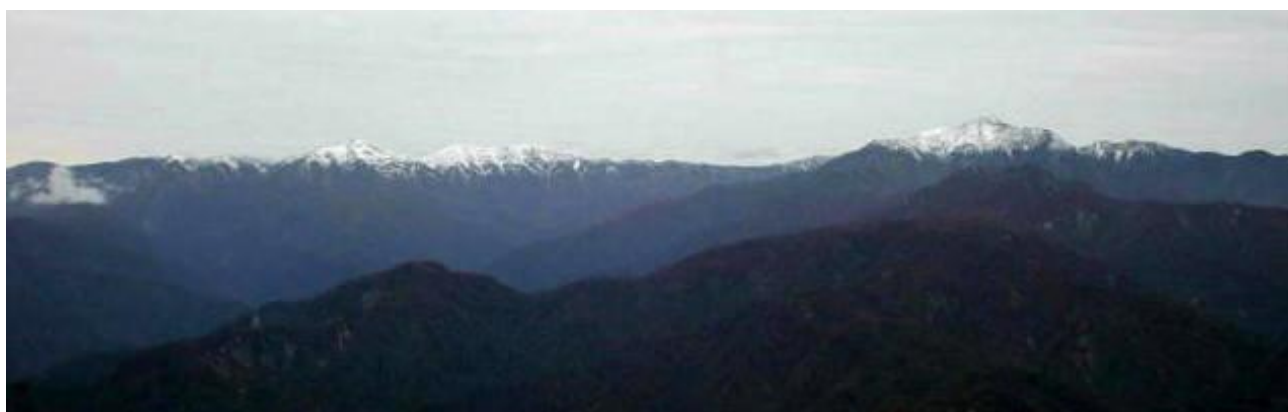


蒜 場 山 山 行 記 録



目的地	蒜場山	期 日	平成 16 年 1 0 月 1 6 日 (土)
山人	笠原正雄・笠原澄子	特 記	飯豊連峰を眺めに行く。(7年前登山道が整備された山)

地 点 名	(着)～(発)	天候	記 事
与 板	午前 6:00 発		燕三条 IC～新発田 IC 高速料金割引区間に行く。
加治川治水ダム	8:00～8:20	曇	ここまで 110 km。到着直前で峰の奥に冠雪の大日岳のピークが見え始める。思わず歓声。駐車場奥に公園トイレ。車は 5～6 台。教えてもらって、烏帽子岳が見える。パンを食べ身支度を整えて出発。
登 山 口	8:25	〃	ノートに記入。「蒜場山登山道・米平新道・平成 9 年 9 月・下越山岳会」の石柱あり。すぐ急登。トロッコや軌道の残骸が 2～3 箇所。
休 憩	8:40～8:50	〃	杉とブナの平坦路で缶コーヒーで休む。中年単独者が追越して行った。
岩 岳	10:05～10:10	曇 晴	小広場。右手に樹間から見えていた俎倉山が目線の高さになって到着。一方の展望が開けて烏帽子岳・山頂が望める。先行単独者が登って行く姿が見える。この後急降下から登り返しが 2 回ある。
烏 帽 子 岳	10:50～11:05	晴 曇	鎖を上げて岩稜ピーク。展望良好、雲海のむこうに粟ヶ岳ほか山・山・山。単独健脚女性が上がって来て、少し休んで先行して行く。彼女から焼峰山カチと山頂を教わる。こののち下ってヤセ尾根を通過し、やや急登。短い鎖一つ。下山者 1 名と行き交う。
山 伏 峰	11:52	曇 晴	ここまで上がって稜線歩きへ。冠雪飯豊の主稜線・磐梯山・燧・至仏、右うしろ遠くの双耳峰は鹿島槍と思われる。三山はぼんやり冠雪模様だ。
山 頂	12:05～1:15	曇	さほど広くない。数人いた。ウインドジャッケを着る。北俣岳の肩に梅花皮小屋が見える。本山は大日岳の奥で見えない。主稜全部が見渡せる。それを眺めながら昼食。女性単独健脚と会話する。彼女週 2 回程のペースで山へ行っている様子。9/27 は飯豊、この火曜日は二王子、この直後は守門、続いて八十里越。「仕事が無いんですよ」という。答えて「そんげにマインチ山へ行っていれば仕事なんかネエコテネ」。これを脇で聞いていたおじさんが笑っている。ゆっくりしていて最後っぺになった。
烏 帽 子 岳	2:10～2:15	〃	日差しが出て来て暖かくなる。ベストを脱ぐ。頂上はガスが上がってきて見えなくなる。
岩 岳	2:55～3:05	〃	鞍部に降りてからの登り返しは往路に思ったほど長くなくさほど苦に成らなかった。このあとは殆どが下り道だ。
休 憩	3:50～4:00	〃	終りも近い。ダム湖を見下ろして腰をつく。缶コーヒーを飲む。
登 山 口	4:25	〃	入山者の割には記入者が少ない。
駐 車 場 発	4:45	〃	県道 14 に出てから往路と逆方向へ。三川村 You&湯で入浴。300 円と安く、いい湯でゆっくり浸かった。隣のファミレスで野菜ラーメン。
与 板 着	9:00	〃	安田 IC～燕三条 IC 割引区間(半額で 750 円)。約 121 km。

この山も高野正史氏から山行報告をもらって、以前からチェックしていた。いい山だ。大部分が尾根歩きで特に烏帽子岳前後は気分がいい。紅葉と、特に飯豊の初冠雪の翌日に会えて、思い描いていたとおりの山行となった。(飯豊山岳対策協議会が 15 日に冠雪を確認と発表している。)